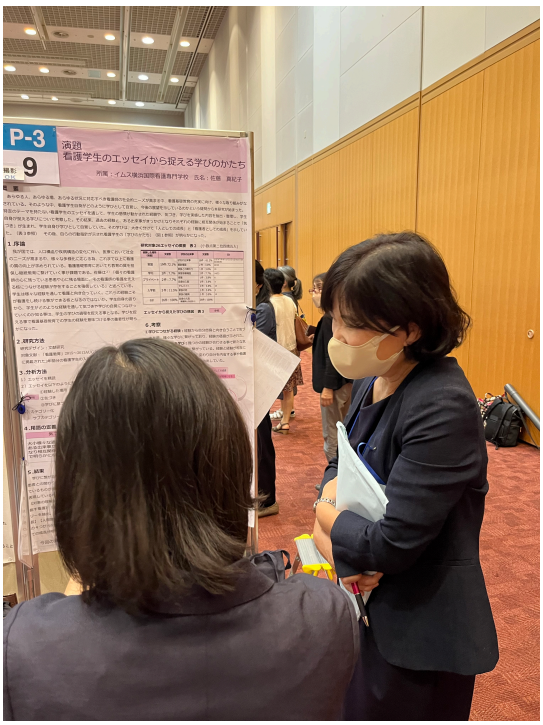
日本看護学教育学会　第33回学術集会（福岡）に参加しました

学術集会1日目

教務主任の佐藤真紀子先生が示説にて「看護学生のエッセイから捉える学びのかたち」を発表しました。

多くの先生方に関心を示して頂き、質問が途切れることがありませんでした。質問者には看護学生の方もいらっしゃいました。素敵な交流をさせて頂きました。ありがとうございました。



学術集会2日目

教務主任のリーダーシップのもと、副教務主任の小松悦子先生、田中理恵先生、茂松愛華先生が交流セッションにて「看護実践能力を養う教育の柱　３＋one」について発表しました。最終日の最後のセッションということで、「参加者がどのくらいいるのだろうか？」と不安はありましたが、多くの先生に参加して頂き、本校の教育内容・方向性にお褒めの言葉も頂きました。

本校ではこれからも、社会に望まれる看護師を育成していけるように研鑽し続けていきます。

セッションに参加してくださった皆さま、遅くまでお付き合いくださり、ありがとうございました。